

ニホンナシ「彩玉」安定生産のための施肥管理法

埼玉県育成品種「彩玉」の施肥について検討しました。「幸水」県基準窒素年間施肥量（10aあたり元肥14kg、追肥4kg、礼肥4kg）に対し、基肥、追肥を倍量施用しても増収効果は見られず（表1、図1）、半量施用では、糖度が低くなる場合が見られました（表2）。このため、「彩玉」年間窒素施肥量は、「幸水」並みの年間22kg程度を目安とします。追肥時期は、養分転換期の5月上旬と、収穫60日前を目安とした6月中下旬に施用すると、糖度を下げずに果実肥大効果が期待できます（図2、3、表3）。

表1 「彩玉」に対する施肥量が果実重に及ぼす影響

施肥区	果実重(g)				4力年平均
	2011年	2012年	2013年	2014年	
標準区	586	706	718	597	652
倍量区	548	607	650	545	588
半量区	597	645	708	582	633
分散分析	NS	NS	NS	NS	NS



図1 「彩玉」に対する施肥量が樹ごとの収量に及ぼす影響

表2 「彩玉」に対する施肥量が果実糖度に及ぼす影響

施肥区	果実糖度(Brix)				4力年平均
	2011年	2012年	2013年	2014年	
標準区	12.8	13.6ab	13.4a	13.0	13.2
倍量区	13.2	13.8a	13.5a	13.4	13.5
半量区	13.0	13.4b	13.1b	13.0	13.1
分散分析	NS	*	*	NS	NS

表3 現地園における追肥時期の違いと果実品質

追肥時期	果実重(g)			糖度(Brix)		
	2012年	2013年	2014年	2012年	2013年	2014年
収穫予定60日前	647	583	565	14.7	14.5	13.2
収穫予定50日前	651	569	539	14.7	14.0	12.9
分散分析	n.s	n.s	*	n.s	**	**

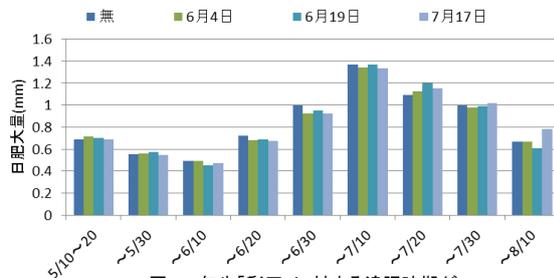


図2 9年生「彩玉」に対する追肥時期が果実横径の日肥大量に及ぼす影響(2013年)

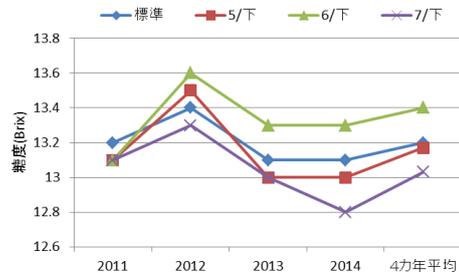


図3 「彩玉」に対する追肥時期が糖度に及ぼす影響